より安全で明るく元気なまちづくり

大好きな“菅”を心のふる里に

菅町会総会で挨拶する濃沼会長

菅町会会員の皆さま並びに関係団体、関係者の皆さまには、日頃から菅町会の各種事業、活動に、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年度を迎え、皆さま新たな気持ちで社会活動を進めておられることと思います。4月から6月にかけて多くの団体や企業の総会が開催されますが、菅町会は去る5月18日、令和7年度の総会を開催しました。ご来賓をお迎えし、代議員の皆様参加のもと、議案として、令和6年度事業報告、収支決算報告、監査報告、令和7・8年度役員（案）、続いて令和7年度事業計画（案）、予算（案）を上程し、原案通りご承認頂きました。新役員・理事が協力して各事業に取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。

菅の地域には2万3千を超える世帯の方々がお住まいで地方の市・町・村に匹敵する規模ですが、都市化が進んだためか、最近はお隣同士でも顔を合わせたお付き合いが薄れてきているように感じられます。菅町会では、数年前より情報のデジタル化を進め、デジタル回覧板やスマートフォンでのお知らせなどを試行してきましたが、あえて町会に加入しなくても必要な情報は得られるので町会の加入も、ご近所付き合いもいらないと言われる方々がおられます。不幸にしてこの地域で自然災害が発生したときなど、メディアやスマホなどから得た情報だけで充分と思えません。近年の熊本地震、能登半島地震、日本各地で発生している風水害、大船渡などでの山林火災での被災者救護の実態からみても、お隣同士で助け合う共助、互助の大切さを是非知って頂きたいと思います。

行政、警察・消防などとお住いの皆さまとのパイプ役を担っている町会が、会員でいることのメリットをもっと生み出していくことも大切と思います。ある地域では、行政と町会が一緒になって「結（ゆい）」というシステムを開発し、町会の加入を推進しています。このシステムでは、情報伝達はもとよりお年寄りやお子様が何か困ったとき、ボタン操作一つで担当者と繋がったり、会員に情報を一斉周知することなどができます。また、ある地域では、商店街などと協調し、町会の会員になると、商店街などでの買い物が割引されるという仕組みを試行しているところもあります。菅町会もこのようなシステム仕組みを参考にしていきたいと思います。

昨年川崎市は市制百周年を迎え、市内各地でいろいろなイベントが行われ、皆さまいくつかの催しに参加されたのではないかと存じます。今から百年前、人口5万人で発足し、現在約30倍の155万人の大きな市に発展しました。初代石井泰助市長が水道事業のために尽力されたお話は有名です。私が育った戦後の菅地域は田畑、果樹が一面に広がる季節感あふれる田園でしたが、高度経済成長期を迎えると、川崎と言えば煙がもくもく、川に泡あふれる公害の街と言われ、恥ずかしい思いもしました。現在は環境整備が進み、工業、商業に加緑地、文化、スポーツも都市に発展しました。しかし、ものもあります。落ち葉を燃やしての焼き芋、田植え時の蛙の声、小鳥の鳴き声、凧揚、ベーゴマ、チャンバラでの子ども達のにぎやかな声、歳の神、この地方の方言（ずつなし、かんます、ぼっこす、しゃっこい、おっぴしょる、けぶったい、くわんくわん、かなつかしく感じられます。これから50年先、100年先がどうなるか、次の世代に期待すると共に、見てみたいものです。

今年は国勢調査と民生委員の改選があり、会員の皆さまに調査員や世話人をお引き受け頂きますのでご協力をお願いします。

菅地域で市が行う事業としては、水道管耐震化の工事、降雨時浸水エリアを減らすための雨水管理設工事、三沢川の越水防止のためのポンプ場新設工事、稲田公園の整備計画が実行される予定です。

なお、能登半島地震への菅町会の皆さまからのご支援に感謝され、本年3月中旬に坂口茂輪島市長より感謝状を頂きました。

また、JR稲田堤駅の駅メロとして流れていた古賀政男さん作曲の「丘をこえて」は、JR南武線のワンマン運転開始に伴い、残念ながら3月15日で終了になりました。

今年度も会員の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年度に向けて

菅町会 会長
濃沼　健夫

菅町会だより

川崎市多摩区菅２－２－25
発行所　菅町会
発行人　濃沼健夫
編集　広報部
電話　044-944-0445

菅町会

最新、大切な情報をお届けします
菅町会公式アカウント
https://sugechoukai.com
Facebook: 菅町会
X（旧Twitter): @sugechoukai
LINE: 「友だち追加」で情報をお届け

多摩消防団稲田分団 菅班交替式行われる
地域の安全・安心に貢献する

祝辞の井田団長

挨拶の濃沼会長

井口元団長に感謝状の贈呈

多摩消防団・稲田分団菅班の新旧団員の交替式が、4月20日（日）に記念撮影ののち、菅会館にて行われました。

この4月に多摩消防団の団長に就任した井田久団長、稲田分団の田村賢太郎分団長をはじめ川崎市議会の井口まみ、河野ゆかり両議員を来賓としてお迎えし、菅班団員、町会役員が参加して式典が始まりました。濃沼健夫会長の挨拶、井田久団長の祝辞のあと、退団者へ感謝状の贈呈があり、退団者の鳴き声、凧揚、ベーゴマ、チャンバラでの子ども達のにぎやかな声、歳の神、この地方の方言（ずつなし、かんます、ぼっこす、しゃっこい、おっぴしょる、けぶったい、くわんくわん、かなつかしく感じられます。これから50年先、100年先がどうなるか、次の世代に期待すると共に、見てみたいものです。

輪島市長よりの感謝状

菅班（樋山優作・上原薫哉班長）は男子団員21名・女子団員2名の総勢23名。今年度は3名の退団者（井口保・小山直樹・上原将平さん）と3名の新入団者（上原正裕・梅田倖太朗・藤田海人さん）がありました。

消防団員は火災や大規模災害発生時に、自宅や職場から現場に駆けつけ、その地域の安全を守るため密着した活動を展開、消防活動、水防活動をはじめ、それらに備えるため日頃から厳しい訓練を行い、地域住民の生命・財産を守る役割を果たしています。

JA CERESA KAWASAKI
心つないで Smile For You…
JAセレサ川崎
菅支店
川崎市多摩区菅 2-1-5
TEL 044-944-3101

「いっぱい遊ぶ」が育ちのきほん
学校法人 武蔵学園 認定こども園
ひがしすげ幼稚園
◆預かり保育あり　◆入園随時
◆見学要予約　◆送迎バス有
川崎市多摩区菅北浦1-6-50
☎(044)944-4152
ホームページ http://www.musasi-gakuen.ed.jp/

この街のベストサポーター
川崎信用金庫
https://www.kawashin.co.jp/
稲田堤支店 044-944-3170

特別寄稿 菅ばなし⑫ 小さい大ヤト・広い小ヤト

スクープ編集 望月雪桜

大ヤト
小ヤト
字
小谷
馬場谷
大谷
小谷
馬場谷
長石坂
谷戸橋
谷戸坂
谷戸坂
谷戸坂